

6. 関東排水区の整備事業(我孫子駅北口浸水対策事業) (令和元年度 整備完了)

◆ 事業概要

当該地区は、JR常磐線我孫子駅と国道6号の間に位置し、その地形はすり鉢状となっていることから、台風や突発的な集中豪雨時には、床上浸水が頻繁に発生している浸水常襲地区です。このため、床上浸水被害の解消を目標に、市と関係住民が一体となって貯留施設などの流出抑制対策等の総合的な浸水対策を行う「下水道浸水被害軽減総合計画」を策定し、自助を中心としたソフト対策を推進するとともに、公助のハード対策として、調整池の築造を行いました。

排水区面積：62.07ha	事業期間：平成22年度～令和元年度
調整池容量：1,600m ³	総事業費：約8.6億円



我孫子駅北口浸水対策事業の概要図



我孫子4丁目いこいの広場（調整池上部）



整備後の状況（調整池内部）

◆ 施設の運用実績

令和2年8月23日の大雨の際、最寄りの雨量観測所で観測した降雨状況[※]で調整池の全量（1,600m³）を貯留し、当該地区での浸水被害を軽減しました。

※我孫子北近隣センター（並木本館）、積算雨量70.5mm(10:00～13:00)、1時間あたり最大雨量66.0mm
30分間で51.0mmの降雨あり